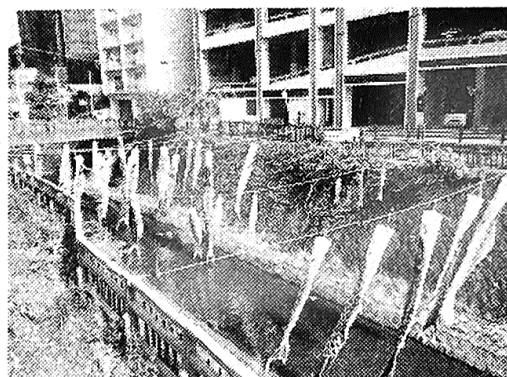




## ふれあい

学校横を流れる中島川に、たくさんの鯉のぼりがたなびいています。伊良林おやじの会の皆様が、子供たちの健やかな成長を願って、設置してくださいました。

令和6年度がスタートして1か月ほどが経ちました。子供たちは、新しい学年・学級で、元気に学校生活を送っています。保護者の皆様には、いつも子供たちの後押しをしていただいています。ありがとうございます。



さて、この春は、コロナによる行動制限が緩和されて、2年目の春になります。昨年度以上に学校職員と保護者の方々とのふれあい、保護者の皆様同士のふれあいが活発になり、つながりが一層強くなればいいなと思っています。

そもそも、私たちは、人とのふれあいによって学び、成長しています。

子供の成長にも、教師の成長にも、親の成長にも、多くの人とのふれあいが必要であり、それを実現するのが学校です。

今後も保護者の皆様には、ご都合がつかれるようであれば、ぜひたくさん学校に足を運んでいただきたいと思います。同じ子供を持つ親同士がふれあうことで、子育てのヒントをもらったり、自分自身の交友範囲が広がったりします。これは、子供の交友関係にもよい影響が出てくることもあります。

また、担任と親がふれあうことで、子育てのベクトルが同じ方向に向き、子供の健やかな成長につながります。子供の健やかな成長のためには、学校職員と保護者の皆様がよい関係を築くことが大切であることは、言うまでもありません。学校職員と保護者の皆様は、「子供を成長させたい、幸せに生きていけるようにしたい」という同じ願いを持っています。

学校職員と保護者の皆様は、子供たちを育てる上での車の両輪です。どちらが欠いてもいけませんし、違う方向を向いていてもいけません。学校では先生がこうしろと言う。家庭ではお家の方がこうしろと別のことを言う。子供への話が学校と家庭で違っては、子供はどちらに進んでいいのか分からなくなってしまいます。だからこそ、よい関係を築いていきたいのです。

学校でのふれあいで得られることは、「学び」であったり、「元気」であったり、「安心感」であったりと、とても貴重なことばかりです。

今年一年、皆様にはたくさん学校に足を運んでいただきたいと思ひますし、私たちも皆様が積極的に足を運んでいただけるよう、努めていきたいと考えています。